

資料2-2 歩道等に関する現状と課題について

<全般>

○腐朽した指導標識、看板類の残置



裏旭野営指定池周辺

○し尿の散乱。
○埋設されたゴミ。



裏旭から間宮分岐へのアプローチ点⇒旭岳

○浸食が進行。



天人峡旭岳温泉方面登山口⇒勇駒別園地

○登山道の崩落、倒木

緑岳⇒白雲岳避難小屋分岐(板垣新道)

○平成28年度の大雨により浸食が進行

黒岳石室分岐⇒お鉢平展望台(雲の平)

○著しい側面、下方の浸食
○風衝地群落、雪田植生への土砂の流入
※特に平成28年度の台風の影響により側面が浸食された。



北海岳分岐⇒白雲岳避難小屋分岐
⇒白雲岳避難小屋

○著しい浸食、複線化

白雲岳直下

○平成28年度から特に浸食、複線化が進行。



白雲岳避難小屋

○平成28年度から小屋のゆがみや傾きが進行。



黒岳旧野営指定地周辺

○埋設されたゴミ



黒岳⇒黒岳石室

○複線化
○山頂部から石がながれ歩道が固定せずガレ場化



黒岳石室分岐⇒北海沢

○著しい浸食、複線化
○赤石川渡渉箇所では、水位上昇(蛇籠の間のスリットに土砂が溜まる)



北海沢⇒北海岳分岐

○著しい浸食、複線化

第一花園⇒赤岳

○第3雪溪の下では上部から流れてきた石が、浮石化
○複線化、浸食の進行

大雪高原温泉⇒第二花畑

○倒木あり、木階段の老朽化。

三笠新道分岐⇒ヤンベ温泉分岐
○平成28年度の台風で被災。

高根ヶ原⇒忠別沼
○著しい浸食、複線化。

白雲岳避難小屋⇒忠別岳(特に忠別岳手前)
○道迷いを誘発するようなケルンあり。

天人峽化雲岳方面登山口
⇒滝見台
○毎年の雪崩による倒木、
登山道の損傷

滝見台⇒化雲岳
○著しい浸食(特に側方)

滝見台⇒化雲岳
○複線化

クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐
○木道の位置のずれ、劣化

三川台
○裸地化、し尿の散乱

クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐
○著しい浸食、ぬかるみ

クチャンベツ沼ノ原登山口⇒五色分岐
○著しい浸食、複線化

NO.2

